

神田外語大学異文化コミュニケーション研究所活動報告

| | |
|-----|---|
| 雑誌名 | 異文化コミュニケーション研究 |
| 巻 | 11 |
| ページ | 151-164 |
| 発行年 | 1999-03 |
| URL | http://id.nii.ac.jp/1092/00000214/ |

神田外語大学 異文化コミュニケーション研究所活動報告

1984 年度 (84/5～85/3)

1984 年 3 月 15 日 佐野隆治佐野学園常務理事(当時)と研究所設立合意。太平洋圏の時代構想。

1984 年 5 月 1 日 佐野学園所属研究所として発足。文化とコミュニケーションの係わりに関する学術研究の進展に寄与し、豊かな国際性と創造的な英知を備えた人材を育成することを目的とする。

- 千葉市において「'84 国際シンポジウム 日本の国際化に果す教育の役割」開催 1984 年 11 月 11 日

1985 年度 (85/4～86/3)

異文化コミュニケーション講演会(於: 神田外語学院)

- 第 1 回 「世界の中の日本文化」

ドナルド・キーン(コロンビア大学教授) 1985 年 12 月 20 日

- 第 2 回 「ソヴィエット・ロシアにおける『名誉』の論理」

内村剛介(上智大学教授) 1986 年 1 月 24 日

- 第 3 回 「フランス人の中華思想——太平洋における核実験」

倉田保雄(評論家) 1986 年 3 月 28 日

その他

- 千葉市において「'86 国際フォーラム アメリカとのコミュニケーション——その可能性をさぐる——」開催 1986 年 2 月 22 日

1986 年度 (86/4～87/3)

刊行物

- 『異文化コミュニケーション——新・国際人への条件』 有斐閣刊
1987 年 3 月

古田 暁(当研究所所長)監修

石井 敏(大妻女子大学)・岡部朗一(南山大学)・久米昭元(神戸市外国語大学) 著

異文化コミュニケーション講演会(於: 神田外語学院)

●第4回 「文化とコミュニケーション」

岡部朗一(南山大学教授) 1986年4月25日

●第5回 「言葉の世界の人間関係——シェークスピアと近松」

ピーター・ミルワード(上智大学教授) 1986年5月16日

●第6回 「なぜ名古屋はオリンピック誘致に破れたか」

久米昭元(神戸市外国語大学助教授) 1986年6月27日

●第7回 「日本の会社と西欧の会社」

井上宗迪(丸紅調査情報部部長補佐) 1986年7月11日

●第8回 「義理と人情——日本、ハワイ、グアムの比較」

石井 敏(大妻女子大学教授) 1986年10月24日

●第9回 「アフリカの虚像と実像」

本城靖久(立教大学講師、エッセイスト) 1986年11月14日

●第10回 「今日のユダヤ人、昨日のユダヤ人——ユダヤ人は世界をどう観るか」

石田友雄(筑波大学教授) 1986年12月12日

研究会

●「日本企業の国際化対応」 1986年6月～1988年2月

1987年度(87/4～88/3)

1987年4月1日 神田外語大学付置研究所に移籍。

人事 古田 暁教授、所長就任。

異文化コミュニケーション講演会(於: 神田外語学院)

●第11回 “Foreign Business in Japan”

エリック・サックハイム(山陽スコット社副社長) 1987年5月15日

●第12回 「価値観・東と西——富士山ニッポンとマニラの夕陽」

村山元英(千葉大学教授) 1987年6月12日

神田外語大学 異文化コミュニケーション研究所活動報告

- 第13回 「イスラームはなぜ日本人に解りにくいか」
牧野信也(東京外国語大学教授) 1987年7月10日
- 第14回 「異文化を理解すること——認知心理学の立場から」
佐伯 胖(東京大学助教授) 1987年9月11日
- 第15回 「愛する日本への提言——在日東南アジア人の立場から」
アリフィン・ベイ(神田外語大学教授) 1987年10月9日
- 第16回 「外国語としての日本語の世界」
山下秀雄((財)言語文化研究所主任研究員) 1987年11月13日
- 第17回 「アメリカ人にとってフェア(公正)とは何か」
板坂 元(創価女子短期大学副学長) 1987年12月11日

研究会

- 「日本企業の国際化対応」 1986年6月～1988年2月

1988年度(88/4～89/3)

刊行物

- 紀要『異文化コミュニケーション研究』創刊号 1989年3月
- ニュースレター『異文化コミュニケーション』
第1号 1988年4月、第2号 1988年7月、第3号 1988年10月、
第4号 1989年2月

異文化コミュニケーション講演会(於: 神田外語学院)

- 第18回 「日本における企業間・企業内コミュニケーション」
北岡靖男(国際コミュニケーションズ社長、TOEIC 創案者)
1988年5月20日
- 第19回 「ヨーロッパ人・日本人・アメリカ人——それぞれのコミュニケーション・スタイル」
フェリス・ロボ(上智大学教授、国際言語情報研究所所長)
1988年6月10日
- 第20回 「国際機構と日本人」
箕輪成男(愛知学院大学教授) 1988年7月13日
- 第21回 「中国人の思考方法」

蜂屋邦夫(東京大学東洋文化研究所教授) 1988年9月9日

●第22回「日本とフランス——その心とかたち」

辻 邦生(小説家、学習院大学教授) 1988年10月14日

●第23回「米と漢字の文化——東洋人と言葉」

カール・ベッカー(筑波大学教授) 1988年11月17日

●第24回「韓国と日本: 敬語の使い方に見られる文化の相違」

金 東俊(神田外語大学教授) 1988年12月2日

●第25回「フィリピンにおける宗教と政治」

エルピディオ・サンタ・ロマーナ(筑波大学客員教授)

1989年1月20日

1989年度(89/4~90/3)

人事 加藤譲治教授、副所長就任。

刊行物

●紀要『異文化コミュニケーション研究』第2号 1990年3月

●ニュースレター『異文化コミュニケーション』

第5号 1989年6月、第6号 1989年10月

●『異文化コミュニケーション・キーワード』有斐閣刊 1990年3月

古田 暁(当研究所所長)監修

石井 敏・岡部朗一・平井一弘・久米昭元 著

●“National Museum of Japanese History English Guide”

S. Okada (National Museum of Japanese History), M. Tsukamoto
(National Museum of Japanese History), H. Iwai (National Museum
of Japanese History), T. Torao (Kanda University of International
Studies).

Trans. G. Furuta & P. F. Shepherd.

Published by the National Museum of Japanese History, Sakura,
Chiba, Japan, 1989.

研究会

●「異文化コミュニケーション状況指標」研究会 加藤譲治副所長主催

神田外語大学 異文化コミュニケーション研究所活動報告

1989年2月～1989年11月

- 第1回 「異文化コミュニケーションの考え方」
古田 暁(当研究所所長) 1989年2月
- 第2回 「企業経営と異文化インターフェイス管理」
林 吉郎(青山学院大学教授) 1989年4月
- 第3回 「日本企業における異文化体験」
R. ハミルトン(米国三菱商事) 1989年5月
- 第4回 「日本企業の海外進出にともなう問題点——タイの事例からの報告」
中川多喜雄(南山大学助教授) 1989年6月
- 第5回 「異文化コミュニケーション指標作成の骨子案」
鈴木 隆(社会総合研究所) 1989年7月
- 第6回 「中国人国際移動の変化とその文化的インパクト」
游 仲勲(国際大学教授) 1989年9月
- 第7回 「日本人の国際交流能力の問題」
中野 浩(ジェトロ国際交流部長) 1989年10月
- 第8回 「国民生活の国際化——その現状と課題」
西村公子(労働省大臣官房政策調査部) 1989年11月

1990年度(90/4～91/3)

人事 久米昭元、虎尾俊哉、研究所教授就任。

刊行物

- 紀要『異文化コミュニケーション研究』第3号 1991年3月
- ニュースレター『異文化コミュニケーション』
第7号 1990年6月、第8号 1990年10月、第9号 1991年1月

異文研研究会

- 日本人の思考法 1990年9月～

研究プロジェクト

- 「日本の大学における『コミュニケーション教育』」実態調査
1990年～1992年

本邦の489大学、大学院におけるコミュニケーション教育の実態に関するアンケート調査。結果は紀要『異文化コミュニケーション研究』第3・4号発表。

1991年度(91/4~92/3)

人事 久米昭元、虎尾俊哉、研究所教授退任、大学教授就任。久米昭元教授、副所長就任。

刊行物

- 紀要『異文化コミュニケーション研究』第4号 1992年3月
- ニュースレター『異文化コミュニケーション』
第10号 1991年6月、第11号 1991年11月、第12号 1992年2月
- 『カルチャーグラム 102 世界文化情報事典』大修館書店刊 1992年
Culturgrams: The Nations around Us. David M. Kennedy Center
for International Studies, Brigham Young University, 1987.
古田 暁(当研究所所長) 編訳
- 『感性のコミュニケーション——対人融和のダイナミズムを探る』
大修館書店刊 1992年
W.ハウエル、久米昭元 共著

異文研夏期セミナー

- 第1回 幕張夏期セミナー「大学における異文化コミュニケーション論の教育と方法」
1991年9月13日~15日 於: 海外職業訓練協力センター(OVTA)

1992年度(92/4~93/3)

刊行物

- 紀要『異文化コミュニケーション研究』第5号 1993年3月
 - ニュースレター『異文化コミュニケーション』
第13号 1992年6月、第14号 1992年11月、第15号 1993年2月
- 学内講演会(於: 神田外語大学)
- “Managing Diversity in Today's Multinational Corporations”

神田外語大学 異文化コミュニケーション研究所活動報告

シーラ・ラムゼイ(神田外語大学教授) 1992年6月8日

異文化コミュニケーション講演会(於: 神田外語学院)

- 第26回 「異文化交流のコチラ側——日本的コミュニケーションの源流を探る」

遠山 淳(桃山学院大学教授) 1993年1月20日

異文研夏期セミナー

- 第2回 幕張夏期セミナー「大学における異文化コミュニケーション論の教育と方法」

1992年9月12日～14日 於: 海外職業訓練協力センター(OVTA)

- 体験学習ワークショップ 1993年2月5日

研究活動

- 「異文化コミュニケーション教育ビデオ作成プロジェクト」
- 「帰国女性の日本社会への適応研究」
- 「青年海外協力隊調査研究」

異文研研究会

- 「共同研究への課題」

参加者によるディスカッション 1992年3月

- 「トランス・カルチュラルコミュニケーション」

神山四郎(神田外語大学教授) 1992年5月29日

- 「文化相対主義と科学的普遍性」

長尾昭哉(神田外語大学教授) 1992年12月2日

1993年度(93/4～94/3)

刊行物

- 紀要『異文化コミュニケーション研究』第6号 1994年3月

- ニュースレター『異文化コミュニケーション』

第16号 1993年6月、第17号 1993年11月、第18号 1994年2月

学内講演会(於: 神田外語大学)

- 「日米ネゴシエーションにおける認識ギャップ」

西山和夫(ハワイ大学教授) 1993年6月22日

●“Windsurfing into the 21st Century”

シーラ・ラムゼイ(神田外語大学客員教授) 1993年12月14日

異文化コミュニケーション講演会(於: 神田外語学院)

●第27回 「異文化間教育と対人コミュニケーション」

星野 命(北陸学院短期大学学長) 1993年6月11日

●第28回 “Riding the Waves of Culture”

シーラ・ラムゼイ(神田外語大学客員教員) 1993年12月3日

●第29回 「変動の世界の新しい大学のために」

小山宙丸(早稲田大学総長) 1994年3月4日

異文研夏期セミナー

●第3回 幕張夏期セミナー「大学における異文化コミュニケーション論
の教育と方法」

1993年9月11日～13日 於: 海外職業訓練協力センター(OVTA)

神田外語大学リカレント公開講座

●ソ連・東欧総合研究(全13回) 1993年9月～12月

異文研研究会

●「文化とコミュニケーションについて」

古田 暁(当研究所所長) 1993年7月14日

●「フランス語教育と言語理論——コミュニケーションの観点から」

藤田知子(神田外語大学助教授) 1993年12月1日

●ランチタイム・ディスカッション “Study of Culture and Fieldwork”

シーラ・ラムゼイ(神田外語大学客員教授)、
ソニア・イーグル(神田外語大学教授) 1993年12月7日

1994年度(94/4～95/3)

刊行物

●紀要『異文化コミュニケーション研究』第7号 1995年3月

●ニュースレター『異文化コミュニケーション』

第19号 1994年6月、第20号 1994年11月、第21号 1995年3月

●ワーキング・ペーパー第1号

神田外語大学 異文化コミュニケーション研究所活動報告

“Overcoming Cultural Chauvinism: The Role of Intercultural Communication”

アリフィン・ベイ(神田外語大学教授) 1995年3月

学内講演会(於: 神田外語大学)

- “Can East Meet West? European Communication Problems after the Fall of Communism”

ユリアナ・ロート(ミュンヘン大学) 1994年9月29日

- “Why Intercultural Communication is so Difficult?”

ジョン・コンドン(ニューメキシコ大学) 1994年12月6日

異文化コミュニケーション講演会(於: 神田外語学院)

- 第30回 「日本における国際理解教育とグローバリズム」

川端末人(神戸大学名誉教授) 1994年7月15日

- 第31回 “Communication and Cultural Values in a Multicultural World”

ジョン・コンドン(ニューメキシコ大学) 1995年1月23日

異文研夏期セミナー

- 第4回 幕張夏期セミナー「異文化コミュニケーションの教育と研究」

1994年9月3日～5日 於: 新日鉄幕張研修センター

異文研研究会

- 「中国人留学生のコミュニケーション特性——日本語教育の実践を通して」

児玉啓子(神田外語大学講師) 1994年7月16日

- 「韓国の文字について——ハングル以前の文字と日本の文字及びハングルの制字原理」

金 東俊(神田外語大学教授) 1995年3月17日

1995年度(95/4～96/3)

刊行物

- 紀要『異文化コミュニケーション研究』第8号 1996年3月

- ニュースレター『異文化コミュニケーション』

第22号 1995年6月、第23号 1995年11月、第24号 1996年2月
学内講演会(於: 神田外語大学)

- 「アメリカ人の文化的価値観とコミュニケーション——個人的体験を中心として」

桜木俊行(ガステイバス・アドルフ・ス大学助教授)

1995年6月27日

- 「メディアと大学——現状とその将来像を探る」

加藤秀俊(文部省放送教育開発センター所長) 1995年12月13日

異文化コミュニケーション講演会(於: 神田外語学院)

- 第32回 「グローバル時代のマスメディア——日米両国の新聞ニュースを中心に」

武市英雄(上智大学教授) 1995年6月28日

- 第33回 “Traveling down the Amazon: An Encounter with Native People of South Venezuela”

オルビド・ロドリゲス・ハートル(神田外語大学助教授)

1995年12月8日

異文研夏期セミナー

- 第5回 幕張夏期セミナー「異文化コミュニケーションの教育と研究」

1995年8月28日～30日 於: 福島県新白河 British Hills

地域社会リカレント公開講座

- 日米関係を考える「なぜ日本とアメリカは理解しあえないか」

1995年10月6日～11月17日 於: 神田外語大学

異文研研究会

- 「異文化コミュニケーションとしての文学」

松井佳子(神田外語大学助教授) 1996年1月31日

- 「日中間の文化摩擦——日中合弁企業における相互の不信感とその原因」

晨 光(当研究所研究助手) 1996年3月7日

研究プロジェクト

- 通信衛星による国際テレビ会議(タイ、インドネシア)
- 国際都市比較研究(千葉市とバンクーバー市、ロサンゼルス市)

神田外語大学 異文化コミュニケーション研究所活動報告

- 異文化コミュニケーション用語研究会
- 異文化コミュニケーション教育ビデオの制作

1996 年度 (96/4～97/3)

刊行物

- 紀要『異文化コミュニケーション研究』第9号 1997年3月
- ニュースレター『異文化コミュニケーション』
第25号 1996年6月、第26号 1996年11月、第27号 1997年2月
- 『異文化コミュニケーション・キーワード集』
異文化コミュニケーション・キーワードの体系化に関する研究プロジェクト報告
研究代表者 久米昭元 1996年6月

学内講演会 (於: 神田外語大学)

- “American Silences: What Happens When Americans Become Silent?”
トム・ブルーノウ(ラドフォード大学) 1996年6月25日
- 「アメリカ合衆国におけるインド、カンボジア及びラオスの音楽文化——多文化の視点から」
ナジール・ジェイラズブホイ(カリフォルニア大学ロサンゼルス校名誉教授)、アミー・カトリン(カリフォルニア大学ロサンゼルス校客員講師) 1996年11月20日
- “Race, Culture and Conflict in the United States”
スティーブン・ロサ(神田外語大学客員教授、カリフォルニア大学助教授) 1996年12月4日

異文化コミュニケーション講演会 (於: 神田外語学院)

- 第34回 「ヨーロッパ統合の実験——経済のボーダーレス化と民族アイデンティティの融合は可能か?」
戸門一衛(神田外語大学教授) 1996年5月24日
- 第35回 「ビジネスの中の異文化」
岡野光弥(元住友化学工業(株)専務取締役) 1997年1月24日

異文研夏期セミナー

- 第6回 「異文化コミュニケーションの教育と研究——多文化共生社会に向けて」

1996年8月28日～31日 於：福島県新白河 British Hills

異文研研究会

- 「敬語の構造が示す日本人の自己と他者の認識」

徳永美暁(神田外語大学大学院教授) 1997年1月22日

研究プロジェクト

- 理論構築研究会

第1回 1997年2月、第2回 1997年3月

- 異文化交流史研究会

第1回 1997年2月

- メディア・ウォッチ会議 月二回開催

- 通信衛星による国際テレビ会議

1997年度(97/4～98/3)

刊行物

- 紀要『異文化コミュニケーション研究』第10号 1998年3月

- ニュースレター『異文化コミュニケーション』

第28号 1997年6月、第29号 1997年11月、第30号 1998年2月

- 『異文化コミュニケーション・ハンドブック』有斐閣刊 1997年1月

石井 敏・久米昭元・遠山 淳・平井一弘・松本 茂・御堂岡 潔 編

学内講演会

- “Broken Bridges in Communication: My Personal Intercultural Experiences in Europe and Japan”

アーネスト・ボーマン(神田外語大学客員教授、ミネソタ大学名誉教授) 1997年6月9日

- 『「ウチとソト」文化考——アメリカ人文化人類学者の見た日本社会」

ジェーン・バクニック(メディア教育開発センター教授)

1997年10月29日

神田外語大学 異文化コミュニケーション研究所活動報告

異文化コミュニケーション講演会（於：神田外語学院）

- 特別講演会「文化の深層構造——日本・ドイツ・アメリカの事例を中心に」

エドワード・スチュワート (Lloyd Thomas & Ball, Inc. 異文化コミュニケーション・シニア スペシャリスト) 1997 年 5 月 9 日

- 第 36 回 「リーダーはどのように生まれるか——小集団コミュニケーションのダイナミックス」

アーネスト・ボーマン(神田外語大学客員教授、ミネソタ大学名誉教授) 1997 年 6 月 27 日

- 第 37 回 「多文化社会における企業とコミュニケーション——パブリックリレーションズの役割」

井之上 喬((株)井之上パブリックリレーションズ取締役社長)
1997 年 9 月 26 日

- 第 38 回 「19 世紀中葉のシャムにおけるコミュニケーション・ギャップ——3 通の修好通商条約のテキストの比較から」

石井米雄(神田外語大学学長) 1997 年 11 月 14 日

異文研夏期セミナー

- 第 7 回 「異文化コミュニケーションの理論と実践——多様な方法論をめぐって」

1997 年 8 月 30 日～9 月 2 日 於：福島県新白河 British Hills

異文研研究会

- 「ペルー日本大使公邸人質事件が問いかけるもの」

柳沼孝一郎(神田外語大学助教授) 1997 年 7 月 3 日

- 「パプア・ニューギニア独立国東セピック州カラワリ地方の生活様式と Cargo Cult について」 岩本遠億(神田外語大学大学院助教授)

研究プロジェクト

- 理論構築研究会

第 3 回 1997 年 5 月、第 4 回 1997 年 6 月、第 5 回 1997 年 11 月、
第 6 回 1998 年 1 月、第 7 回 1998 年 3 月

- 異文化交流史研究会

第2回 1997年4月、第3回 1997年6月、第4回 1997年9月
●メディア・ウォッチ会議 月二回開催

1998年度(98/4~99/3)

人事 高崎 望、研究所教授就任。

刊行物

●紀要『異文化コミュニケーション研究』第11号(1999年3月)

●ニュースレター『異文化コミュニケーション』

第31号 1998年6月、第32号 1998年11月、第33号 1999年2月
学内講演会(於: 神田外語大学)

●「コンピュータ社会の光と陰——21世紀の日本文化を考える」

高崎 望(当研究所教授) 1998年6月17日

●「なぜ、異文化コミュニケーションは困難なのか」

ジョン・コンドン(ニューメキシコ大学リージェント教授)

1998年11月18日

異文化コミュニケーション講演会(於: 神田外語学院)

●第39回 「メディア・ウォッチ——異文化の視点からメディアを読む」

ケネス・スターク(アイオワ大学教授) 1998年6月19日

●第40回 「異文化経営と日本人」

浜脇洋二(外資系企業経営者協会会長) 1999年1月29日

異文研夏期セミナー

●第8回: 「異文化コミュニケーションの実践と課題——アジアの中の日本」

1998年7月31日~8月2日 於: 福島県新白河 British Hills

研究プロジェクト

●理論構築研究会

第8回 1998年5月、第9回 1998年7月、第10回 1998年10月

●異文化交流研究会

●メディア・ウォッチ会議 月二回開催